

農林水産省において、ごはんを中心とする日本型食生活の全国的な普及促進を図るために、全国1ヶ所のモデル地域(市・区～都道府県域のエリア)において、民間事業者(広告代理店、イベント会社等)が自由な発想により企画した事業を集中的に行う「にっぽん食育推進事業」が平成18年度に創設され、ごはんを食べよう国民運動推進協議会が事業主体となり実施した。

当協議会が事業主体に選ばれたのは、①全都道府県が加入していること、②米関係で生産・流通・消費の各団体・企業が加入した唯一の全国組織であること、③公的機関(県庁)が事務局を担っていること、そして何よりも協議会設立以来ごはんを中心とした日本型食生活の推進に意欲的に取り組んできたことが評価されたものと受け止めている。

【事業のあらまし】

当協議会が事業主体となり、農林水産省と連携しモデル事業の公募・選考を行う。

企画を採択された民間事業者は、その内容により地域の自治体や企業、団体等と連携して事業を実施する。

〈民間事業者に提案を求める内容〉

提案された企画は、検討委員会(外部有識者)で審査・選考

①事業のコンセプト(求める成果等)

事業実施期間は3年で、成果イメージも民間事業者に自由に提案してもらう。

②実施地域(全国1カ所:市・区～都道府県域のエリア)

③事業内容

1 企画提案競技の実施

〈経緯〉 6月13日 公募開始(～7月4日(22日間))

6月22日 説明会の開催(東京都内)

7月4日 公募締め切り(全国から16提案の応募)

16提案の実施地域の内訳:北は宮城県仙台市から南は広島県まで、11都府県(東北、関東、信越、中部、関西、中国地方)。全国規模で提案が出された。

8月3日 書面審査結果を決定(書面審査により、プレゼンテーション審査に進む6提案を選定)

8月19日 プレゼンテーション審査会を開催(東京都内)

採択:(株)神戸新聞社の企画提案 「新ライススタイル」～ごはんを新しい食として提案～



日本経済新聞(H18.6.6)



2 事業の展開(平成18年度～20年度)

(1)実施地域 神戸を中心とした兵庫県瀬戸内沿岸

(2)実施内容

①事業コンセプトの提示 「新ライススタイル～ころろおいしいごはん」

②事業推進キャラクターの設定

藤原紀香さん(女優)、平尾誠二さん(神戸製鋼ラグビー部監督)、

藤川球児さん(阪神タイガース投手)、ヴィッセル神戸(チーム肖像の活用)

③Webによる情報発信 ごはんの学校「ゴーゴー組」の開設・運営

(3)主な事業の実施状況

区分	18年度	19年度	20年度
主な内容	【藤原紀香さん起用の広告展開】 ^(注)		
	【ごはんカンパニー活動】 (74社参加)	(104社参加)	(124社参加)
	【食のイベント】(32,000人)	【ごはんのまつり】(16,500人)	【ごはんのまつり】(12,000人)
	【大規模食実態調査】 (約9,500人対象)	【効果測定調査】 (約450人対象)	【効果測定調査】 (約450人対象)
		【保田先生のごはん塾】 (12回延べ2,172名参加)	(18回延べ2,684名参加)
		【Webサイトのごはんの学校 「ゴーゴー組」の設置】 (会員2,513名)	(会員3,284名)
補助金額	292,349千円	329,076千円	57,000千円

(注)・平成20年度は、国の事業再編により、広告・宣伝費用(新聞・ラジオ・交通広告等)を減じて実施。

・結婚で話題を呼んだ女優の藤原紀香さんを起用した一連の広告展開は、企画性が評価され、日本新聞協会の新聞広告賞2007を受賞した。

(4)成果

普及啓発の展開により、ごはんの消費量が1週間で1人1杯増。

効果測定調査結果(県内の地域人口比率を考慮し市町単位で無作為抽出した県民約450人対象の調査)

指標	目標(対前年比)	成果(H19.9とH20.12の比較)
1人1週間当りごはん食回数	105%	110% (11.3回 → 12.4回)
1人1食当りごはん量	105%	99% (179g → 177g) ^(注)
ごはん消費量	110%	109% (12.6杯 → 13.7杯)

(注)お茶碗1杯160gで計算。

◆「ごはんカンパニー」活動

- ごはんを中心とした日本型食生活を実践・推進する企業・団体・学校のネットワークとして「ごはんカンパニー」を結成(平成19年2月19日 決起大会)。
- 構成員数:74社(H18) 104社(H19)
124社(H20)
- 活動内容:社内啓発、ポイント還元グッズの提供、食育セミナー、料理教室、協働販促事業、イベントへのボランティア派遣 等



◆食イベント「ごはんのまつり」

- 「ごはん」をキーワードにごはんカンパニー等と消費者が集う大規模食イベント(2日間)を、神戸ファッションマートで開催。食に関する「ごはんカンパニー」が多数出展した。
- 来場者数:16,500人(H19) 12,000人(H20)
- 出展数:55ブース(H19) 35ブース(H20)
- その他、兵庫県民農林漁業祭等のイベントに出展・PR



◆「保田先生のごはん塾」

- 地域活動として、「子どもたちのかまど炊飯体験」と「保護者への学識経験者の講義」を組み合わせた食育活動を幼稚園、小学校等で実施。
- 受講前後のアンケートで『朝食にごはんを食べる人』が大幅に増加。
- 感動と納得に基づく体験型食育活動のモデルを構築。



• 実施状況	(H19) 12か所、参加者2,172人(児童等1,587人、保護者等585人)		
	(H20) 18か所、参加者2,684人(児童等1,445人、保護者等1,239人)		
• 成果(平成20年度受講者対象の調査より)			
	(受講時)		(受講後1ヶ月)
朝食で週4回以上ごはんを食べる人の割合	36.7%	→	50.5%(13.8ポイント増加)
朝食にごはんを食べない人の割合	38.8%	→	19.9%(18.9ポイント減少)

IV 「にっぽん食育推進事業」の実施



◆ Webサイト「ゴーゴー組」

- インターネット上に「ごはんの学校」を開設し (H19.9)、授業形式でのごはんを中心とした情報の発信、「ごはん検定」の実施、地域活動情報の発信。
- 受講等に対しポイントを付与し、協賛企業等提供の商品をポイント還元する仕組みにより、向学心を刺激。
- 子育て世代(20代~40代)の会員が全体の80%以上を占め、ごはん食推進の取り組みに重要な世代への啓発ツールとして機能。



ゴーゴー組とは

神戸大学名誉教授の保田茂さんが校長に、女優の藤原紀香さんが初代の学級担任に、そして各方面の専門家の先生方が参加し、生徒である会員と双方向で、お米やごはんについて一緒に勉強しようというこれまでにないシステム。

- **会員数** 3,284人 [H21.3.4現在]
- **アクセス状況** 月間 1,067,273PV* [H21.1]
(参考:兵庫県HP 約515,000PV [H20.12]) ※PV(ページビュー):ページ閲覧回数
- **授業の配信** 作成授業数:135本(H19:89本、H20:52本)
授業1本と練習問題3問を日替わりで毎日配信
- **講師陣(敬称略)**
(校長・社会科) 保田 茂(神戸大学名誉教授)
(担任) 上田 千華(タレント)(H19は藤原紀香)
(調理実習) 白井 操(料理研究家)
(保健体育) 鈴木 正成(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)
(家庭科) 竹内 富貴子(管理栄養士、ダイエットクリエイター)
(理科) 伏木 亨(京都大学大学院農学研究科教授)
(保健体育) 森谷 敏夫(京都大学大学院人間環境学研究科教授)
(部活顧問) 平尾 誠二(神戸製鋼ラグビー部GM兼総監督)
- **ごはん検定** 年3回実施、50問出題 受験者数:1,150人(H19) 2,179人(H20)
- **話題性喚起** 神戸製鋼ラグビー部、宝塚歌劇団、灘中・灘高とタイアップし、ごはんとスポーツ、美、学力の関係を情報発信

◆ 主要事業の継続

にっぽん食育推進事業での成果を踏まえ、Web上のごはんの学校「ゴーゴー組」(www.gokumi.com)と、かまどを使った「保田先生のごはん塾」については、大変好評で引き続き成果が見込まれることから、一部内容を縮小して、兵庫県の「おいしいごはんを食べよう県民運動」の中で、独自に継続・展開している。

なお、「保田先生のごはん塾」は、平成29年度は幼稚園(保育園)・小学校において延べ2,268人(保護者を含む)が体験。平成30年度は幼稚園(保育園)だけでも実施予定園数15園に対して、135園から申込み(申込み倍率9倍)があった。今後決定する小学校分を含めると、前年度を上回る体験参加者が見込まれている。

(参考)新たな国民運動「FOOD ACTION NIPPON」(フード・アクション・ニッポン)へ

平成20年10月からは、農林水産省が中心となって国産農林水産物の消費拡大に向けた国民運動「FOOD ACTION NIPPON」(フード・アクション・ニッポン)が立ち上がり、推進パートナーとして民間企業等の参画が図られており、当協議会も一員である。

フード・アクション・ニッポン

日本の食を次の世代に残し、創るために、民間企業・団体・行政・消費者等が一体となって推進する国産農林水産物の消費拡大の取り組みで、平成20年10月の立ち上げ以来、平成30年度で10周年を迎え、「推進パートナー」(活動主旨に賛同し登録した企業・団体等)は10,192社(※平成30年3月31日現在)に至っている。

ごはんの学校ゴーゴ組の活動

- 平成19年 7月 ゴーゴ組予告サイト設置
 9月 ゴーゴ組開校
 (校長:神戸大学名誉教授 保田茂さん 担任:藤原紀香さん)
 神戸製鋼ラグビー部プロジェクト
 (強い体を作るためのスポーツ用菓子試作品の試食会)
- 10月 保田先生のごはん塾スタート(明石市を皮切りに18回実施)
 平成19年度第1回ごはん検定
- 11月 平成19年度第2回ごはん検定
 平成19年度兵庫県民農林漁業祭ゴーゴ組サテライト教室出展
 (ゴーゴ組PRと生徒募集)
- 12月 体験!綱引き教室(加古川市内ごはん食啓発)
 宝塚歌劇団プロジェクト(柚木礼音さん、北翔海莉さんインタビュー)
 白井操先生の料理教室スタート(計15回実施)
- 平成20年 1月 神戸製鋼ラグビー部プロジェクト
 (神戸製鋼 VS トヨタ自動車戦でゴーゴ組かまど隊によるごはん食啓発)
 (アフターマッチファンクションでのごはん食啓発)
 灘中学校・灘高等学校プロジェクト(保田先生のごはん塾を灘高等学校で実施)
- 2月 平成19年度第3回ごはん検定
 おかわり力アッププロジェクト
 (加古川カップ綱引き記念大会に参加、一般チャレンジ部門で優勝)
- 3月 第1回ごはんのまつり(神戸六甲ファッションマート)
 平成19年度かまどごはん体験キャラバン 10,000人達成
 ごはんカンパニーによるごはん普及イベント
 (イオンモール伊丹テラス内ジャスコ伊丹店)
- 4月 ゴーゴ組新担任 平尾誠二さん就任(~7月)
- 6月 平成20年度兵庫県楽農生活センター 親子農業体験スタート
- 8月 ゴーゴ組新担任 上田千華さん就任
 米飯学校給食5回実施市町長インタビュー
 (小野市、宍粟市、佐用町、篠山市にご組感謝状を贈呈)
- 9月 おかわり力アッププロジェクト
 (レッドスターベースボールクラブで早稲田大学教授鈴木正成さんが講義)
 宝塚歌劇団プロジェクト(音月桂さんインタビュー)
 平成20年度第1回ごはん検定
- 10月 食事バランスガイド料理教室
- 11月 宝塚歌劇団プロジェクト(遼河はるひさん、城咲あいさんインタビュー)
 ごはんを食べよう国民運動推進協議会鳳蘭理事インタビュー
 平成20年度兵庫県民農林漁業祭にゴーゴ組サテライト教室出展
 (ごはん食啓発と生徒募集)
 平成20年度第2回ごはん検定
- 12月 宝塚歌劇団プロジェクト(愛音羽麗さん、野々すみ花さんインタビュー)
 おかわり力アッププロジェクト
 (レッドスターベースボールクラブスカイマークスタジアムでごはん食啓発)
- 平成21年 1月 神戸製鋼ラグビー部プロジェクト(ホームズスタジアムでごはん食啓発)
 平成20年度第3回ごはん検定
 第2回ごはんのまつり(神戸六甲ファッションマート)
 平成20年度かまどごはん体験キャラバン 10,000人達成



IV
「にっぽん食育推進
事業」の実施

